

## **ADDERLink<sup>™</sup> XD641 and XD642** ユーザーガイドVer.1.1



日本に於けるライセンスはタックシステム株式会社が 保有しています。 タックシステム株式会社の承諾無しに当マニュアルの コピー、再販を禁じます。 TAC SYSTEM INC. TAC 管理番号:T1-10096 2020.11.24 Yasuaki Tsukamoto

Experts in Connectivity Solutions



**Extender** 

Solutions

INSTALLATION

## イントロダクション

ようこそ	· 2
AdderLinkXD641の機能	• 3
AdderLinkXD642の機能	. 4
技術仕様	• 5
付属品	• 6
オプションのエクストラ	• 7

## インストレーション

ロケーション	8
接続	8
送信機のビデオリンク	9
送信機のオーディオリンク	9
送信機のUSBリンク	10
送信機リモートポート	10
送信機の電源接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
リンク	12
CATxリンク	12
光ファイバーリンク	13
受信機のビデオディスプレイ	14
EDID管理 ······	14
レシーバーオーディオデバイス・・・・・	14
受信機のUSBデバイス	15
レシーバーリモートポート	15
受信機の電源接続	16

## 設定

ダッシュボードへのアクセス・・・・・	17
デュアルヘッドモードの選択(XD642モデルのみ)	17
モジュールのリセット	18
ファームウェアのアップグレード	18

### 操作

指標	19
----	----

## 詳細

支援を受ける	20
付録1-リモートポートのピン配置	21

## インデックス

I.



# イントロダクション



INSTALLATION

CONFIGURATION

#### ようこそ

ADDERLink®XD641(シングルヘッド)またはXD642(デュアルヘッド)エクステンダーモジュールを お選びいただき、ありがとうございます。 これらのコンパクトなモジュールは、光ファイバーリンクまたはCATxリンクのいずれかを使用して、 ホストコンピューターから長距離にわたってKVM接続を拡張できます。 (右側のファイバーを使用する場合の伝送距離を参照) 特に光ファイバーリンクの干渉に対する耐性と組み合わせると、 金属ケースのエンクロージャー内で採用される高品質のスクリーニング AdderLink XDエクステンダーモジュールは、以下のサポートを提供します

・高品質のシングルまたはデュアルデジタルビデオ(最大4K 4096 x 2160 @ 60Hz)
・USBキーボードとマウスに加えて他の2つのUSBデバイス(最大USB 2.0)
・最大115200ボーの速度のRS232シリアルデバイス
・モノラルマイク
・ステレオスピーカー

・ラインレベルのオーディオ入力/出力接続



### ファイバー使用時の伝送距離

ADDERLink XDモジュールで使用するファイバーの選択は、操作を実行できる距離に大きな影響を 与えます。

マルチモードファイバーを使用すると、最大400m(1,312フィート)の距離を実現できます。 一方、シングルモードファイバー(および付属のSFPモジュール)を使用すると、達成可能な最大距 離が4 km(2.5マイル)に増加します。

Distance	Fiber type	Fiber color code	SFP module
70m	OMI (TIA-492AAAA)	Orange	SFP-MM-LC-10G
I 50m	OM2 (TIA-492AAAB)	Orange	SFP-MM-LC-10G
380m	OM3 (TIA-492AAAC)	Aqua	SFP-MM-LC-10G
400m	OM4 (TIA-492AAAC)	Aqua	SFP-MM-LC-10G
4km	OSI (TIA-492C000)	Yellow	SFP-SM-LC-10G

ON VO

**OPERATION** 



#### ADDERLINK XD641の機能

送信機と受信機のモジュールは、わずか186 x 152 x40mmのスリムな金属ケースに収められています。



**Transmitter module** TRANSMIT ADDERLink **XD** 6 4 1 PWR STS VID LNK LINK B A 埋め込み CATxポート ステータスインジケーター SFPスロット リセットボタン 光ファイバーSFPモジュールを ファイバーとは別 これらは、さまざまなシステム機 リンク方法で接 能の視覚的な確認を提供します。 収容します。 モジュールの 詳細については、 詳細については、インジケーター リセットを参照して 続します。CATx 光ファイバーリンクを参照して を参照してください。 **リンク**を使用して ください。 ください。 ください。 USBポート コンピューターのUSB ポートに接続します。 最も外側のポートは、 USBオーディオストリ オーディオポート ーミングもサポートし ています。 コンピュータのオーディオ出力/入力 詳細については、送信 ポートに接続します。 機のUSBリンクを参照 詳細については、 してください。 送信機のオーディオリンクを参照して ください。  $(\mathfrak{A})$ (13) (23) 12VDC REMOTE ((h)) ÷ (y)) E (13) リモートポート 電源入力 ビデオポート RS232シリアルデバイスに 詳細については、 コンピューターの 送信機の電源接続を参照して 使用できます。 DisplayPortコネクターに 詳細については、 ください。 接続します。 送信機のリモートポートを 詳細については、送信機の 参照してください。 ビデオリンクを参照してく ださい。





#### ADDERLINK XD642の機能

送信機と受信機のモジュールは、わずか186 x 152 x40mmのスリムな金属ケースに収められています。









### **TECHNICAL SPECIFICATIONS**

**ADDERLink XD641** 



#### • 100-240VAC, 47-63Hz

• 12VDC 18W output from power supply unit.

**ADDERLink XD642** 

Nominal Operating Power (W)	10\W	Nominal Operating Power (W)	10\VV		
		Pook Power (M)			
Freak Fower (VV)					
External Fower	12v DC, 1.5A	External Fower	12V DC, 1.5A		
• Max operating Altitude (m)	2000m	• Max operating Altitude (m)	2000m		
• Operating lemp range (°C)	0 to +40°C	• Operating lemp range (°C)	0 to +40°C		
<ul> <li>Operating Humidity range (%RH)</li> </ul>	0-80%	• Operating Humidity range (%RH)	0-80%		
<ul> <li>Storage Temp range (°C)</li> </ul>	-10 to +50°C	<ul> <li>Storage Temp range (°C)</li> </ul>	-10 to +50°C		
<ul> <li>Storage Humidity range (%RH)</li> </ul>	0-80%	<ul> <li>Storage Humidity range (%RH)</li> </ul>	0-80%		
<ul> <li>Max Thermal Dissipation (BTU)</li> </ul>	41.94	<ul> <li>Max Thermal Dissipation (BTU)</li> </ul>	41.94		
<ul> <li>Local unit – Transmitter (Tx)</li> <li>4x tri-color status indicators</li> <li>DisplayPort in and local pass-through out</li> <li>2 x USB2.0 type B</li> <li>Line in and out analog audio</li> </ul>		<ul> <li>Local unit – Transmitter (Tx)</li> <li>4x tri-color status indicators</li> <li>2x DisplayPort in</li> <li>2x USB2.0 type B</li> <li>Line in and out analog audio</li> </ul>			
• RJI2 serial port		RJI2 serial port			
<ul> <li>RJ45 and SFP+ ports</li> </ul>		<ul> <li>RJ45 and SFP+ ports</li> </ul>			
<ul> <li>Remote unit - Receiver (Rx)</li> <li>4x tri-color status indicators</li> <li>2 x DisplayPort out (second port is a duplicate)</li> <li>4 x USB2.0 type A</li> <li>Mic in, headset and speaker out</li> <li>RI12 serial port</li> </ul>		<ul> <li>Remote unit – Receiver (Rx)</li> <li>4x tri-color status indicators</li> <li>2x DisplayPort out</li> <li>3x USB2.0 full speed, type A</li> <li>Ix USB2.0 transparent Hi-Speed, type</li> <li>Mic in, headset and speaker out</li> </ul>	A		
• RI45 and SFP+ ports		RII2 serial port			
Physical design		<ul> <li>RJ45 and SFP+ ports</li> </ul>			
Robust metal construction		Physical design			
• TX and RX: 186mm/7.32" (w), 39mm/1.54" (h), 148mm/5.83" (d)		Robust metal construction			
• TX: I.29kg / 2.84lbs		<ul> <li>TX and RX: 186mm/7.32" (w), 39mm/1.54" (h), 148mm/5.83" (d)</li> </ul>			
• RX: I.24kg / 2.73lbs		<ul> <li>TX: 1.29kg / 2.84lbs</li> </ul>			
Power supply		• RX: 1.24kg / 2.73lbs			
• 100-240\/AC 47-63Hz					

**Power Supply** 

- 100-240 VAC, 47-63 Hz
- I2VDC I8W output from power supply unit.



#### **SUPPLIED ITEMS**



#### **XD64**x transmitter kit



XD64x receiver kit





#### **OPTIONAL EXTRAS**







## インストレーション



**INSTALLATION** 

CONFIGURATION

OPERATION

AdderLink XD64xモジュールの位置を計画するときは、次の重要な点を考慮してください。

・送信機モジュールを、接続先のシステムの近く、および主電源の近くに配置します。
 受信機モジュールは、接続する周辺機器と主電源の近くに同様に配置します。
 ・付属の安全リーフレットに記載されている注意事項を参照してください。
 ・接続は、このガイドに記載されている順序で実行する必要はありません。
 ただし、可能な場合は、最後のステップとして電源を接続します。

#### 接続

インストールには、送信機モジュールをホストコンピューターの さまざまなポートにリンクし、受信機モジュールをビデオディス プレイと周辺機器に接続することが含まれます。 National ElectricalCodeのArticle645およびNFPA75 に従って、情報技術室に設置するのに適しています。

Peut être installé dans des salles de matériel de traitement de l'information conformément à l'article 645 du National Electrical Code et à la NFPA 75.



接続をクリックして詳細を表示します



#### 送信機のビデオリンク



 $(\mathcal{E})$ 

#### ビデオポートを接続するには

- 1 付属のDisplayPortリンクケーブルを、トランスミッターモジュールの 背面パネルのビデオソケット1とホストコンピューターのプライマリー ビデオ出力ソケットの間に接続します。
- 2 XD642モデルでは、オプションで、送信機モジュールの背面パネルの ビデオソケット2とホストコンピューターのプライマリビデオ出力ソケ ットの間に追加のDisplayPortリンクケーブルを接続します。

XD641モデルでは、オプションでローカル ビデオディスプレイを送信機モジュールの 背面パネルのビデオソケット2に接続します。

> ホストコンピューターからの プライマリービデオ入力

> > XD641モデル:ローカルビデオディスプレイへの出力(オプション) XD642モデル:ホストコンピューターからのセカンダリービデオ入力

#### ビデオ解像度

XD641およびXD642エクステンダーは、以下の一般的なビデオ解像度(すべて60 fps)を サポートしますが、これらに限定されません。 1920 x 1080 (HD) 1920 x 1200 (WUXGA) 2560 x 1080 2560 x 1440 (WQHD) 2560 x 1600 (WQXGA) 2560 x 2048 (QSXGA) 2048 x 1080 (2K) 2048 x 2160 3840 x 2160 (UHD) 4096 x 2160 (4K)

#### 送信機のオーディオリンク

AdderLink XD64xモジュールは、 アナログステレオオーディオの入力 および出力接続をサポートします。 必要に応じて、ホストコンピューター のオーディオ入力ポートや出力ポート と送信機モジュールを接続します。

注:デジタルオーディオは、透過的な リンクスルーとしてDisplayPortコネ クタを介して個別にサポートされま す。



オーディオポートを接続するには 1 ライン入力および/またはライン出力 ポートの場合、送信機モジュールの 背面パネルのオーディオポートとホ ストコンピューターのライン入力ま たはライン出力ソケットの間に付属 のオーディオリンクケーブルを接続

ホストコンピューターのオーディオ出力から

します。





#### 送信機のUSBリンク

送信機モジュールには、背面パネルに 2つのUSB入力ポートがあります。





使用しているADDERLinkXDのモデルに応じて、 ポートの機能は異なります。

	I	2
XD641	受信機のすべてのUSBポートへのUSBHID (ヒューマンインターフェイスデバイス) フィード	レシーバーに Ω∮◀ ラベル付けされたアナログ オーディオポートとの間のUSBオーディオフィード
XD642	受信機のすべてのUSBポートへUSBHID (ヒューマンインターフェイスデバイス) フィード - 😪 ラベルの付いたものを除いて	受信機に 😪 ラベルが貼られたフロントパネル ソケットへの透明なUSBフィード



2 ケーブルのタイプAコネクタをホストコンピューターの空いているUSBポートに接続します。

3 USBオーディオ/透過USBが必要な場合は、2番目のポートに対して手順1と2を繰り返します。(上記の表を参照)

#### 送信機リモートポート

リモートポートには2つの役割があり、 次のいずれかを実行できます。

- ・オプションのリモコンをモジュール に接続できるようにする、または
- ・受信機モジュールとのRS232シリアル 接続を作成します。

#### シリアルデバイスがに接続されている場合

送信機のリモートポートとレシーバーモジュールの場合、ユニットは最大115200ボードの レートでモジュール間で信号を透過的に伝送します。

VIDEO

LINK(S)

POWER

IN

TRANSMITTER

LINK

RECEIVER

AUDIO

LINKS

REMOTE

PORT

USB

LINK(S)r

シリアル構成は必要ありません。

オプションのシリアルケーブル(部品番号:VSC50)はAdderから入手できます。

#### リモートポートを接続するには

1オプションのシリアルケーブル(VSC50)を使用して、送信機モジュールの背面パネルの リモートポートをホストコンピューターの空のRS232シリアルポートにリンクします。



リモートポートのピン配置の詳細については、付録1を参照してください





#### 送信機の電源接続

どちらのAdderLinkXD64xモジュールにも オン/オフスイッチがないため、電源が 投入されるとすぐに動作が開始されます。 モジュールに付属の電源アダプタは、 ロックタイプのプラグを使用して、 偶発的な切断を防ぎます。 電源アダプタを外すときは、右の指示に 従ってください。



#### 電源アダプタを接続するには

1 付属の電源アダプタの出力プラグを 背面パネル右側の電源入力ソケットに 取り付けます。



## 電源アダプタを外すには

1 電源アダプタを主電源から分離します。

- 2 モジュールと接続する電源アダプタプラグの外側の本体を つかみます。
- 3 アウタープラグの本体をモジュールからそっと引き離します。 プラグの本体がスライドして戻ると、ソケットから解放され、 プラグ全体を完全に引き出すことができます。

プラグの外側の本体をそっと引き戻し、 ロックを解除します。

す。

 $(\mathfrak{F})$ 

IZVDC

2 付属の国別電源コードのIECコネクタを電源アダプタのソケットに接続します。



重要:付属の安全リーフレットに記載されている電気安全情報を読み、遵守してください。 特に、アースされていない電源ソケットや延長ケーブルは使用しないでください。 注:モジュールと電源装置はどちらも、動作中に熱を発生し、触ると暖かくなります。 装置を冷却するために、それらを囲んだり、空気が循環できない場所に置いたりしないでください。 摂氏40度を超える周囲温度で機器を操作しないでください。 表面温度が摂氏40度を超える機器に製品を接触させないでください。



OPERATION





#### リンク

ADDERLink XD641およびXD642ユニットは、次のいずれかを使用してリンクできます。 ·CATx(以下を参照)、または ファイバー(次のページを参照)

ファイバーを使用する場合、転送できる解像度に最大4K(4096 x 2160)までの制限はありません。 CATxリンクを使用する場合、XD642モデルでのデュアルヘッドインストールの最大解像度は 2K (2048 x 1080) になります。

ADDERLink XD641	最大4Kのシングルヘッド	最大4Kのデュアルヘッド
ADDERLink XD642	最大4Kのシングルヘッド	最大2Kのデュアルヘッド
	最大4kmの距離	最長100mまでの距離

#### CATxリンク

ファイバーCATx

各モジュールのCATxポート(リンクAのラベル)を使用すると、最大50m(CAT5eを使用する場合)または 100m(CAT6を使用する場合)の直接リンクを作成できます。

CATxモードで動作するには、SFPファイバーモジュールをソケットから取り外す必要があります。 注:CATxポートはネットワークポートではないため、ネットワークスイッチやコンピューターポートに 接続しないでください。

#### CATxリンクを作成するには

1送信機(前面パネル)と受信機(背面パネル)のリンクAポートの間にCATx(必要に応じてCAT 5eから7) ケーブルを接続します。



#### CATxステータスインジケーター

各モジュールのCATxポートコネクタのステータスインジケータは、 CATxリンクが使用されているときに詳細なステータス情報を提供します。

リンク

このインジケータは、

送信機モジュールと

受信機モジュールの間 にCATxリンクがある

場合は常に**緑色**になり

ます。

どうかを示します。 ・黄色-リンク速度が必要な5Gbit /秒 を下回っています。 CATxケーブルリンクに問題が ないか確認してください。

·緑色-リンク速度は問題ありません。

CATxリンクの速度が十分であるか

速度

このインジケータは、

INDEX

12

2動作中、CATxコネクタの両方のインジケータが緑色であることを確認します。右を参照してください。





**INSTALLATION** 

CONFIGURATION

#### 光ファイバーリンク

AdderLink XD641モジュールの各ペアには、選択したオプションのSFP光ファイバーモジュール (シングルモードまたはマルチモード)が必要です。 使用する光ファイバーケーブルは、SFPタイプと一致している必要があり、また、カバーする距離に適した タイプである必要があります。 詳細については、伝送距離を参照してください。

### 光ファイバーリンクを作成するには

重要:SFPモジュールを挿入または取り外す前に、電源がオフ/切断されていることを確認してください。

1 保護パッキングからSFPモジュールを取り外し、AdderLinkXD641の空のスロットに完全に挿入します。 XD641送信機スロットはフロントパネルにあります。 XD641レシーバースロットは背面パネルにあります。



2 他のXD641上の他のSFPモジュールについて繰り返します。

3 各SFPモジュールについて、センサーを保護している黒いゴム製インサートを取り外します。 4 取り付けられている場合は、光ファイバーコネクタを保護しているデュアルインサートを取り外します。 5 光ファイバーコネクタをSFPモジュールに挿入して、カチッと所定の位置に収まるようにします。



6 もう一方の端で手順4と5を繰り返します。



注:光ファイバーリンクの信頼性を高く維持するために、Adderが 提供するSFP(SFP-MM-LC-10GまたはSFP-SM-LC-10G)を使用 することをお勧めします。 代替部品が使用されている場合、システムはこれを検出し、

代替部品が使用されている場合、システムはこれを使出し、 フロントパネルのLNKインジケーターを点滅させます。

SFPモジュールを取り外すには
1 取り付けられている場合は、SFPモジュールからデュアル光ファイバーコネクタを取り外します。 (光ファイバーコネクタのリリースタブを押して、接続を解除します)
2 小さな抽出レバーのクリップを外して開きます。 (この操作により、ロックタブが解放され、グリップポイントも提供されます)
3 抽出レバーをそっと引いて、SFPモジュールをスロットから引き出します。
4 SFPモジュールや光ファイバコネクタが長期間使用されない場合は、保護インサートを取り付けて、光インターフェイスを清潔に保つようにしてください。 **INSTALLATION** 

CONFIGURATION

#### 受信機のビデオディスプレイ

デュアル2K解像度が可能です。

ビデオディスプレイを接続するには

2 ポート2のセカンダリ(または複製)

各レシーバーモジュールの背面パネルには、 2つのDisplayPortソケットがあります。 XD641モデルでは、ポート1からの信号が ポート2で複製されます。 XD642モデルでは、ポート1と2が独立して 動作し、送信機のビデオポート1と2に導入 された信号を供給します。

注:XD642モデルでは、デュアルビデオディスプレイは

モジュールの背面パネルのポート1に接続します。

ビデオディスプレイについて繰り返します。

プライマリー ビデオディスプレイへ

CATxリンクを使用して4K解像度を使用することはできません ファイバーを使用する必要があります。ただし、CATxを使用すると

1 プライマリビデオディスプレイからの信号ケーブルをレシーバー



レシーバーオーディオデバイス

レシーバーモジュールは、ステレオヘッドホン、 モノラルマイク、ラインレベルの入出力接続な ど、複数のアナログオーディオデバイスを サポートできます。 左側のUSBオーディオもサポートされています。 XD641背面パネルのハンドUSBソケット コンピューターに接続されています。 オーディオコンピューターから受信した信号は 受信機のアナログオーディオソケットに転送 されます。 両方のソースが存在する場合、USBオーディオは

3.5mmオーディオジャックよりも優先されます。





セカンダリー(または複製) ビデオディスプレイへ

#### EDID管理

EDID(拡張ディスプレイ識別データ)は、受信機モジュールで接続されたビデオ ディスプレイから読み取られます。 次に、送信機モジュールに転送されて保存され、ホストコンピューターに宣言されます。

#### ビデオディスプレイが削除された場合

送信機モジュールに保存されている複製されたEDIDは、引き続きビデオソースに表示されます。

ビデオ解像度 XD641およびXD642エクス	1920 x 1080 (HD)	2560 x 2048 (QSXGA)
テンターは、以下の一般的な ビデオ解像度(すべて60 fps)	2560 x 1080	2048 x 2160
をサポートしますが、これらに 	2560 × 1440 (WQHD)	3840 x 2160 (UHD)
限定されません。	2560 x 1600 (WQXGA)	4096 x 2160 (4K)

2 オプションで、リアパネルの3.5mmジャックオーディオ ソケットを使用して、パワードスピーカーなどのライン レベルオーディオデバイスを接続します。



注:DisplayPortコネクタを介して送信されたデジタルオーディオは、送信機から 受信機のポートに直接渡され、アナログオーディオ信号から完全に分離されたまま になります。





TAC SYSTEM

**INSTALLATION** 

CONFIGURATION

INDEX

#### 受信機の電源接続

どちらのAdderLinkXD64xモジュールにも オン/オフスイッチがないため、電源が投入 されるとすぐに動作が開始されます。 モジュールに付属の電源アダプタは、偶発的な 切断を防ぐためにロックタイプのプラグを 使用しています。電源アダプタを外すときは、 右の指示に従ってください。







プラグの外側の本体をそっと引き戻し、 ロックを解除します

2 付属の国別電源コードのIECコネクタを電源アダプタのソケットに接続します。



3 電源コードを近くの主電源ソケットに接続します。

重要:付属の安全リーフレットに記載されている電気安全情報を読み、遵守してください。 特に、アースされていない電源ソケットや延長ケーブルは使用しないでください。

注:モジュールと電源装置はどちらも、動作中に熱を発生し、触ると暖かくなります。 装置を冷却するために、それらを囲んだり、空気が循環できない場所に置いたりしないでください。 摂氏40度を超える周囲温度で機器を操作しないでください。 表面温度が摂氏40度を超える機器に製品を接触させないでください。





CONFIGURATION

**DPERATION** 

#### ダッシュボードへのアクセス

AdderLink XD641モジュールは通常、自動的に構成され、接続されているモニターから EDID情報を収集し、その詳細をホストコンピューターに渡します。問題が発生しない限 り、モジュールは接続されるとすぐに正しく連携し始めます。

フロントパネルのインジケータはステータス情報の主要なソースを提供しますが、プライ マリコンソールディスプレイに他の特定の詳細を提供するダッシュボードポップアップも あります。

#### ダッシュボードにアクセスするには

1 レシーバーモジュールに接続されているコンソールキーボードを使用して、**Ctrl**キーを 押します。(そして離します)

すばやく3回キーを押します。(キーボードのCtrlキーのいずれかを使用できます) それに応じて、3つのキーボードインジケータがすべて1秒に1回点滅します。

2 キーボードのメインセクションの上にある数字キー1を押します。

(数字キーパッドではありません)次のようなダッシュボードが表示されます。



上記の例は、正しく機能している構成を示しています。 通信リンクは正常に機能しているが、ビデオ信号が失われた場合、 次のように報告される場合があります。



通信リンクが欠落している場合、ダッシュボードは次のような問題を報告します。



次にキーボードのメインセクションの上にある数字キー1を押してください。 (数字キーパッドではありません)

#### デュアルヘッドモードの選択(XD642モデルのみ)

CATxリンクを使用して送信機モジュールと受信機モジュールを接続すると、使用可能な帯域幅が減少します。 XD642モデルでは、デュアル高解像度ビデオディスプレイが使用されている場合、使用可能な帯域幅がモデル間 **INSTALLATION** でどのように共有されるかを決定できます。

2つのモードが利用可能です:

・バランスモード-報告されているEDIDに関係なく、2つのビデオディスプレイ間で利用可能なビデオ帯域幅を 均等に有します。

通常は2560x1600のネイティブモードを要求するビデオディスプレイで、それぞれ1920x1200です。

・優先モード-プライマリビデオポートが優先され、EDIDで報告されているように最大4Kの解像度を 表示できます。 残りの帯域幅は2番目のビデオヘッドに割り当てられます。

#### デュアルヘッドモードを選択するには

 レシーバーモジュールに接続されているコンソールキーボードを使用して、Ctrlキーを押します。 (そして離します)

**すばやく3回キーを押します。**(キーボードのCtrlキーのいずれかを使用できます) それに応じて、3つのキーボードインジケータがすべて1秒に1回点滅します。

2 必要なモードを表すキーボードのメインセクション(テンキーではない)の上にある**数字キー**を押します。 •6 for バランスモード

·**7** for 優先モード

現在のモードは、ダッシュボードのリンク速度の 横に表示されます。(例: BAL) 5G、PRI5G



注:5秒以内にキーを押さなかった場合、または数字1、6、または7以外のキーを押した場合 (またはアクションを正常に選択した場合)、キーボードは通常の操作に戻ります。 別のホットキー機能を使用するには、上記の手順全体を繰り返します。





#### モジュールのリセット

各モジュールのフロントパネルの左側には、特別な機能を呼び出すために使用される 小さなリセット穴があります。



#### モジュールをリセットするには

1 まっすぐに伸ばしたペーパークリップなどの薄い道具を使用して、 小さな穴の後ろに隠れているボタンを押して放します。 PWRインジケーターが赤く表示されます。

数秒後、インジケーターが赤から緑に変わり、リセット手順が完了 したことを示します。

#### ファームウェアのアップグレード

ファームウェアのアップグレードは、Adder Webサイト(www.adder.com)を介して製品で 定期的に利用可能になります。 この手順を使用して、両方のADDERLinkXDエクステンダーのファームウェアをアップグレード します。

#### ファームウェアをアップグレードするには

1 AdderWebサイト内のADDERLinkXD製品ページの ダウンロードセクションから適切なファームウェア アップグレードファイルをダウンロードします。 アップグレードファイルを空の(ただしFAT32フォー マットの) USBメモリスティックにコピーします。 2送信機と受信機がリンクされ、電源がオンになってい ることを確認します。 また、レシーバーモジュールのポートにUSBドライブ が挿入されていないことを確認してください。 3 レシーバーで、レシーバーのSTSインジケーターが 凹型リセットボタン 赤/青に点滅するまで、まっすぐに伸ばしたペーパー を押し続けます クリップなどの薄い器具をリセット穴に押し続けます。 これで、レシーバーはアップグレードモードになります。 4 STSインジケータリンクが緑色に変わり、リンクが確立 されたことを示します。 5 アップグレードファイルが入っているメモリースティック をフロントパネルの左側のUSBポートに挿入します。 アップグレードが開始され、両方のユニットがSTSイン DERLink D

ジケーターを赤/緑に点滅させて、アップグレードプロセ スが進行中であることを示します。

アップグレードが成功すると、両方のユニットが自動的 に再起動し、新しいファームウェアを実行します。

DER. 641

64

アップグレードファイル付き USBメモリスティック

・何らかの理由でアップグレードが失敗した場合、STSインジケーターが赤に変わり、エラーを示します。 詳細については、ダッシュボードを参照してください。(17ページを参照) 必要に応じて、モジュールを再起動して、既存のファームウェアバージョンを使用するようにします。



INDEX





AdderLink XD641モジュールは、動作が透過的になるように設計されています。 すべての周辺機器は、ホストコンピュータの隣にある場合とまったく同じように応答する 必要があります。

#### 指標

送信機と受信機のモジュールには、ステータス情報を提供するさまざまなインジケーターが 含まれています。 どちらのモジュールにも、前面パネルに4つの赤いインジケーターがあります。

#### ステータスインジケーター

各モジュールのフロントパネルにあるマルチカラーステータスインジケーターは、ほとんど 同時に同じように動作します。



#### CATxステータスインジケーター

各モジュールのCATxポートコネクタのステータスインジケータは、CATxリンクが 使用されているときに詳細なステータス情報を提供します。

このインジケーターは、

どうかを示します。

確認してください。

CATxリンクの速度が十分であるか

CATxケーブルリンクに問題がないか

·緑-リンク速度は問題ありません。

・琥珀色-リンク速度が必要な

5Gbit /秒を下回っています。



このインジケーターは、 送信機と受信機モジュールの 間にCATxリンクがある場合 は常に緑色になります。 OPERATION



**INSTALLATION** 

CONFIGURATION







この章には、次のようなさまざまな情報が含まれています。 ・支援を受ける-右を参照 ・付録1-リモート(オプション)ポートのピン配列

#### 支援を受ける

このガイドに含まれている情報を確認しても問題が解決しない場合は、当社のWebサイトの サポートセクションを参照してください。 www.adder.com

INSTALLATION



#### 付録1-リモートポートのピン配置

REMOTEポートは6p6cソケットを使用します。ピン配置は以下のとおりです。 注:「未使用」というラベルの付いたピンは非アクティブですが、内部で接続されているため、 このピンへのリンクを作成する必要があります。



注:TXは、入力電力信号の存在を検出して、RXに5Vを供給する必要があるかどうかを判断します。







ADDER®

www.adder.com





© 2020 Adder Technology Limited All trademarks are acknowledged. Part No. MAN-000008 • Release 1.1

# インデックス



## 23



Audio devices Receiver 14 Audio links transmitter 9

#### В

Α

Balanced mode 17

#### С

CATx link 12 status indicators 12 Connections overview 8

#### D

Dashboard 17 Dual head mode 17

#### F

Fiber distances 2 Fiber optic link 13 Firmware upgrade 18

### Н

hid 10 L

Linking overview 12

#### 0

Optional extras 7 OSD Dashboard 17

#### Ρ

Power connection Receiver 16 transmitter 11 Priority mode 17

#### R

Remote port pin-out 21 Receiver 15 transmitter 10 Reset 18

#### S

SFP module 13 SFP modules 2 Status indicators 19 Supplied items 6

#### U

Upgrade firmware 18 USB devices Receiver 15 USB links transmitter 10

#### V

Video display(s) Receiver 14 Video links transmitter 9 Video resolutions 9